

令和2年度山形県立米沢女子短期大学入学者選抜の概要について

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

本学は、社会に貢献できる、地域を支える人材を養成することを使命としている。この使命に基づき、本学で学ぶにふさわしい次のような意欲と資質を持つ学生を受け入れる。

1. 好奇心に富み、自ら課題を発見して、主体的に課題解決に取り組む意欲がある人
2. 専門分野において、基礎的な勉学を着実に積み重ねる努力を厭わず、かつ幅広い教養にも関心を持ち、柔軟な発想ができる人

上記を踏まえ、各学科では特に次のような学生を受け入れる。

【国語国文学科】

1. 文学に興味を持ち、それを通じて、様々な人生のあり方、考え方を理解し、自分とは何かを知り、自分の生き方を確立するため、人間としての幅広い教養を身に付けたいという意欲を持つ人
2. 人間社会を成り立たせている言葉に関心を持ち、言葉の働きを理解し、豊かな表現能力を身に付けたいという意欲を持つ人
3. 日本の文化に興味を持ち、先人達の豊かな知恵を理解し、現在の社会がどうあるべきかを考えることによって、よりよい社会の形成に寄与したいという情熱を持つ人

【英語英文学科】

1. 国際社会において必要とされる英語コミュニケーション能力及び様々な局面に対応できる国際感覚を養うことに意欲のある人
2. 海外の異文化を積極的に学び、異文化間コミュニケーション能力を培うことに意欲を持つ人

【日本史学科】

1. 日本史・地域史・女性史・考古学・民俗学など、歴史的な事柄について特別な関心を抱き、歴史情報の収集・調査・分析をする力をつけるべく、本学日本史学科で特に学びたいという積極的な意欲を持つ人
2. 本学で身に付けた歴史的な思考力と歴史情報に対する調査研究能力をもって、地域文化及び地域社会の発展に積極的に貢献していこうとする強い意思と情熱を持つ人

【社会情報学科】

1. 人間社会にみられる様々な問題に関心を抱き、社会学・心理学・経済学・経営学・情報学・メディア表現などを学ぶことにより、幅広く現代社会を理解し、その中で生き抜くための情報活用能力を身に付けたいという積極的な意欲を持つ人

2. 急速に情報化が進む現代社会で必要となる情報コミュニケーション能力を養うことにより、仕事の現場で即戦力となりたい、あるいは、自発的な社会活動を通じて豊かな地域社会づくりに貢献したいという強い意思と情熱をも持つ人

1 令和2年度入学者選抜の概要

(1) 試験区分、募集人員及び入学者選抜試験実施日程

試験区分	募集学科	募集人員	試験期日	合格発表	出願期間
AO (アドミッション・オフィス) 入試	国語国文学科	20名	令和元年	令和元年 9月13日(金)	令和元年 8月23日(金) ～9月3日(火) 必着
	日本史学科	10名	9月7日(土)		
	社会情報学科	14名	9月8日(日)		
センター試験を課さない推薦入試 (学校長推薦)	国語国文学科	25名(うち県内高等学校等から13名程度)	令和元年 11月20日(水)	令和元年 11月29日(金)	令和元年 11月1日(金) ～11月13日(水) 必着
	英語英文学科	18名(うち県内高等学校等から9名程度)			
	日本史学科	16名(うち県内高等学校等から8名程度)			
	社会情報学科	13名(うち県内高等学校等から7名程度)			
センター試験を課す推薦入試 (自己推薦)	国語国文学科	20名	令和2年 2月4日(火)	令和2年 2月7日(金)	令和2年 1月20日(月) ～1月29日(水) 必着
	英語英文学科	10名			
	日本史学科	7名			
	社会情報学科	12名			
一般入試	国語国文学科	35名	令和2年 2月18日(火)	令和2年 2月26日(水)	令和2年 1月20日(月) ～2月10日(月) 必着
	英語英文学科	22名			
	日本史学科	17名			
	社会情報学科	11名			
特別入試 (一般社会人/私費外国人留学生/帰国子女・在外子女/学士・短期大学士)	国語国文学科	若干名	令和元年 11月20日(水)	令和元年 11月29日(金)	令和元年 11月1日(金) ～11月13日(水) 必着
	英語英文学科	若干名			
	日本史学科	若干名			
	社会情報学科	若干名			

(2) 試験会場

入学者選抜試験は、AO入試、センター試験を課さない推薦入試(学校長推薦)、センター試験を課す推薦入試(自己推薦)及び特別入試(一般社会人/私費外国人留学生/帰国子女・在外子女/学士・短期大学士)は、山形県立米沢女子短期大学(山形県米沢市通町六丁目15番1号)を試験会場として実施します。

一般入試は、米沢会場として、山形県立米沢女子短期大学(山形県米沢市通町六丁目15番1号)、庄内会場として、鶴岡市勤労者会館(山形県鶴岡市泉町8番57号)、仙台会場として、フォレスト仙台(宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45)の3会場で開催します。

2 AO（アドミッション・オフィス）入試

（1）出願資格

AO（アドミッション・オフィス）入試による本学への志願者は、次の①及び②のいずれにも該当する女子に限ります。ただし、合格した場合は必ず入学することを条件とします。

① 次のア～ウのいずれかに該当する者

ア 学校教育法に規定する高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者

イ 学校教育法に規定する特別支援学校の高等部又は高等専門学校の第3学年を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者（本学の入学資格審査が必要な場合は、令和元年7月26日（金）までに本学教務学生課に申し出てください。）

② 本学及び受験する学科のアドミッション・ポリシーに適合する者

（2）入学者選抜方法等

入学者の選抜は、面接（口頭試問を含む）、学校長から提出される調査書及び志願理由書の内容に基づいて行います。ただし、予備面談には必ず参加してください。予備面談に参加することが選抜の条件となります。

① 予備面談及び面接（口頭試問を含む。）

第1日 予備面談	令和元年9月7日（土）
第2日 面接	令和元年9月8日（日）

※予備面談では、本学教員との面談及びプレゼンテーションの発表等を行います。なお、詳細は学生募集要項でお示しします。

3 センター試験を課さない推薦入試（学校長推薦）

（1）出願資格ならびに推薦条件 ※1校あたりの推薦人員の制限はありません

センター試験を課さない推薦入試（学校長推薦）による本学への志願者は、次の①から④までのいずれにも該当する女子に限ります。ただし、合格した場合は必ず入学することを条件とします。

① 学校教育法に規定する高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者

② 人物、学力が優秀で健康状態が良好である者

③ 志願する学科への能力・適性等について学校長が責任をもって推薦できる者

- ④ 調査書の評定値が、下表の規定を満たす者
(日本史学科及び社会情報学科はア、イのいずれかを満たす者)

国語国文学科	全体の評定平均値が 3.5 以上
英語英文学科	全体の評定平均値が 3.5 以上
日本史学科	ア 全体の評定平均値が 3.5 以上 イ 地理歴史、公民いずれかの教科の評定平均値が 4.0 以上
社会情報学科	ア 全体の評定平均値が 3.3 以上 イ 農業、工業、商業、福祉いずれかの教科の評定平均値が 4.0 以上

(2) 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、小論文、面接、学校長から提出される調査書及び推薦書の内容を総合して行います。

① 小論文及び面接の配点

	小論文	面接	合計
全学科	60	40	100

※小論文試験は、各学科別問題で行います。英語英文学科の課題文は英語で出題します。

4 センター試験を課す推薦入試（自己推薦）

(1) 出願資格

センター試験を課す推薦入試（自己推薦）による本学への志願者は、次の①から③のいずれかに該当する女子に限ります。ただし、令和2年度大学入試センター試験（本学で指定した教科・科目）を受験しており、かつ**合格した場合は必ず入学すること**を条件とします。

- ① 学校教育法に規定する高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法に規定する特別支援学校の高等部又は高等専門学校の第3学年を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者（本学の入学資格審査が必要な場合は、令和元年11月15日（金）までに本学教務学生課に申し出てください。）

(2) 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験、面接、調査書（学校長より提出）及び自己推薦書の内容を総合して行います。

(3) 令和2年度大学入試センター試験の利用教科・科目 (●は必須教科 ○は選択教科)

学科名 (受験科目数)	受験教科・科目及び選択方法
国語国文学科 (1科目)	●国語 (「国語」近代以降の文章、古文及び漢文)
英語英文学科 (1科目)	●外国語 (「英語」〈リスニングを含む。〉)
日本史学科 (1科目)	○地理歴史、公民の下記科目から1科目選択 (地理歴史、公民について、2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に使用) 地理歴史 (「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」) 公民 (「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」)
社会情報学科 (1科目)	○外国語、地理歴史、公民、数学、理科の下記科目から1科目選択 (外国語、地理歴史、公民、数学、理科について、2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に使用) 外国語 (「英語」〈リスニングを含む。〉「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」) 地理歴史 (「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」) 公民 (「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」) 数学 (「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」) 理科 (「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の中から2科目又は「物理」「化学」「生物」「地学」の中から1科目)

(4) 大学入試センター試験及び面接の配点

学科名	大学入試センター試験各教科の配点							面接	合計
	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	計		
国語国文学科	200						200	100	300
英語英文学科						250	250	100	350
日本史学科		(100)	(100)				100	50	150
社会情報学科		(150)	(150)	(150)	(150)	(150)	150	150	300

(注1) 括弧で囲んでいない配点は必須教科であり、括弧で囲んだ配点は選択教科であることを示しています。

(注2) 国語は、近代以降の文章、古文及び漢文のすべてが対象です。

(注3) 英語英文学科の外国語は「英語〈リスニングを含む。〉」に限ります。

5 一般入試

(1) 出願資格

一般入試による本学への志願者は、次の①から③のいずれかに該当する女子に限ります。た

だし令和2年度大学入試センター試験（本学で指定した教科・科目）を受験していることを条件とします。

- ① 学校教育法に規定する高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法に規定する特別支援学校の高等部又は高等専門学校の第3学年を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者（本学の入学資格審査が必要な場合は、令和元年11月15日（金）までに本学教務学生課に申し出てください。）

(2) 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験、小論文及び学校長から提出される調査書の内容を総合して行います。

(3) 令和2年度大学入試センター試験の利用教科・科目（●は必須教科 ○は選択教科）

学科名 (受験科目数)	受験教科・科目及び選択方法	備 考
国語国文学科 (2科目)	<p>●国 語（「国語」）（近代以降の文章と古文） ○地理歴史、公民、外国語の下記科目から1科目選択</p> <p>地理歴史（「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」） 公 民（「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」） 外 国 語（「英語」＜リスニングを含む。＞「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」）</p>	地理歴史、公民、外国語について、2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に使用。
英語英文学科 (2科目)	<p>●外 国 語（「英語」＜リスニングを含む。＞） ○国語、地理歴史、公民、数学、理科の下記科目から1科目選択</p> <p>国 語（「国語」）（近代以降の文章） 地理歴史（「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」） 公 民（「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」） 数 学（「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」） 理 科（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の中から2科目又は「物理」「化学」「生物」「地学」の中から1科目）</p>	国語、地理歴史、公民、数学、理科について、2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に使用。
日本史学科 (2科目)	<p>○地理歴史、公民の下記科目から1科目選択</p> <p>地理歴史（「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」） 公 民（「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」） ○国語、外国語の下記科目から1科目選択</p> <p>国 語（「国語」）（近代以降の文章） 外 国 語（「英語」＜リスニングを含む。＞「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」）</p>	地理歴史、公民の教科から2科目、国語、外国語の教科から2科目受験した場合は、それぞれの最高得点の科目を合否判定に使用。

社会情報学科 (2科目)	<p>●国 語 (「国語」) (近代以降の文章)</p> <p>○外国語、地理歴史、公民、数学、理科の下記科目から1科目選択</p> <p>外国語 (「英語」<リスニングを含む。>「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」)</p> <p>地理歴史 (「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」)</p> <p>公 民 (「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理, 政治・経済」)</p> <p>数 学 (「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」)</p> <p>理 科 (「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の中から2科目 又は「物理」「化学」「生物」「地学」の中から1科目)</p>	外国語、地理歴史、公民、数学、理科について、2科目以上受験した場合は、最高得点の科目を合否判定に使用。
-----------------	--	---

(4) 大学入試センター試験及び小論文の配点

学 科 名	大学入試センター試験各教科の配点							小論文	合計
	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	計		
国語国文学科	200	(100)	(100)			(100)	300	100	400
英語英文学科	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	300	100	400
日本史学科	(100)	[100]	[100]			(100)	200	100	300
社会情報学科	150	(150)	(150)	(150)	(150)	(150)	300	150	450

(注1) 括弧で囲んでいない配点は必須教科であり、括弧で囲んだ配点は選択教科であることを示しています。日本史学科については、選択のしかたが2種類あり、国語及び外国語の教科から1科目、地理歴史及び公民の教科から1科目を選択することになります。

(注2) 国語の得点については、国語国文学科(近代以降の文章と古文)は200点満点に、同じく社会情報学科(近代以降の文章)は150点満点にそれぞれ換算します。他の学科(近代以降の文章)は100点満点で換算します。

(注3) 外国語の得点については、英語英文学科は「英語」<リスニングを含む。>を200点満点に、社会情報学科は150点満点に、その他の学科は100点にそれぞれ換算します。

6 一般社会人特別入試

(1) 出願資格

令和2年4月2日時点において満21歳以上であり、2年以上の就業経験(家事従事等を含む。)を有し、かつ、次の①から③のいずれかに該当する女子に限ります。

- ① 学校教育法に規定する高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 学校教育法に規定する特別支援学校の高等部又は高等専門学校の第3学年を修了した者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者(本学の入学資格審査が必要な場合は、令和元年9月2日(月)までに本学教務学生課に申し出てください。)

(2) 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、提出書類、小論文及び面接により行います。

① 小論文及び面接の配点

	小論文	面接	合計
全学科	60	40	100

※小論文試験は、各学科別問題で行います。英語英文学科の課題文は英語で出題します。

7 私費外国人留学生特別入試

(1) 出願資格

私費外国人留学生特別入試による本学への志願者は、次の①から③のいずれにも該当する女子に限ります。

- ① 日本国籍を有しない者
- ② 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、若しくはこれに準ずるもので文部科学大臣の指定した者、又はスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証明書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、フランス共和国において大学資格として認められているバカロレア資格を有する者若しくはグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
- ③ 大学での修学に十分な日本語の能力を有する者（独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成30年度第2回日本留学試験、又は令和元年度第1回日本留学試験で、日本語の教科を受験した者とします。）

(2) 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、提出書類、小論文及び面接により行います。

① 小論文及び面接の配点

	小論文	面接	合計
全学科	60	40	100

※小論文試験は、各学科別問題で行います。英語英文学科の課題文は英語で出題します。

8 帰国子女・在外子女特別入試

(1) 出願資格

日本国籍を有する者で、次の①又は②のいずれかに該当する女子に限ります。ただし、平成30年3月31日以前に帰国した場合は出願資格がありません（一般社会人特別入試で受験可能な場合もありますのでお問合せください。）。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又は令和2年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者

(注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間から除きます。

- ② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証明書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学資格として認められているアビトゥア資格を有する者、フランス共和国において大学資格として認められているバカロレア資格を有する者又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者

(2) 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、提出書類、小論文及び面接により行います。

- ① 小論文及び面接の配点

	小論文	面接	合計
全学科	60	40	100

※小論文試験は、各学科別問題で行います。英語英文学科の課題文は英語で出題します。

9 学士・短期大学士特別入試

(1) 出願資格

短期大学士（準学士）以上の学位を取得した女子、又は令和2年3月までに取得見込みの女子に限ります。

(2) 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、提出書類、小論文及び面接により行います。

- ① 小論文及び面接の配点

	小論文	面接	合計
全学科	60	40	100

※小論文試験は、各学科別問題で行います。英語英文学科の課題文は英語で出題します。

※令和元年5月現在の内容です。変更される場合がありますので、「令和2年度学生募集要項」にてご確認ください。